

出生 年間 284 人 1日に0.8人 令和元年度	死亡 年間 282 人 1日に0.8人 令和元年度	結婚 年間 329 組 1日に0.9組 令和元年度	離婚 年間 94 組 1日に0.3組 令和元年度	人口密度 1km ² 当たり 2,167 人 令和元年度末	世帯人員 1世帯当たり 2.4 人 令和元年度末
平均年齢 43.9 歳 令和元年度末	65才以上の人 8,644 人 町民4.1人に1人 令和元年度末	15才未満の人 5,264 人 町民6.7人に1人 令和元年度末	転入 年間 1,487 人 1日に4.1人 令和元年度	転出 年間 1,390 人 1日に3.8人 令和元年度	医師数 52 人 町民678人に1人 平成30年12月

藍住町 **町制施行65周年記念誌**

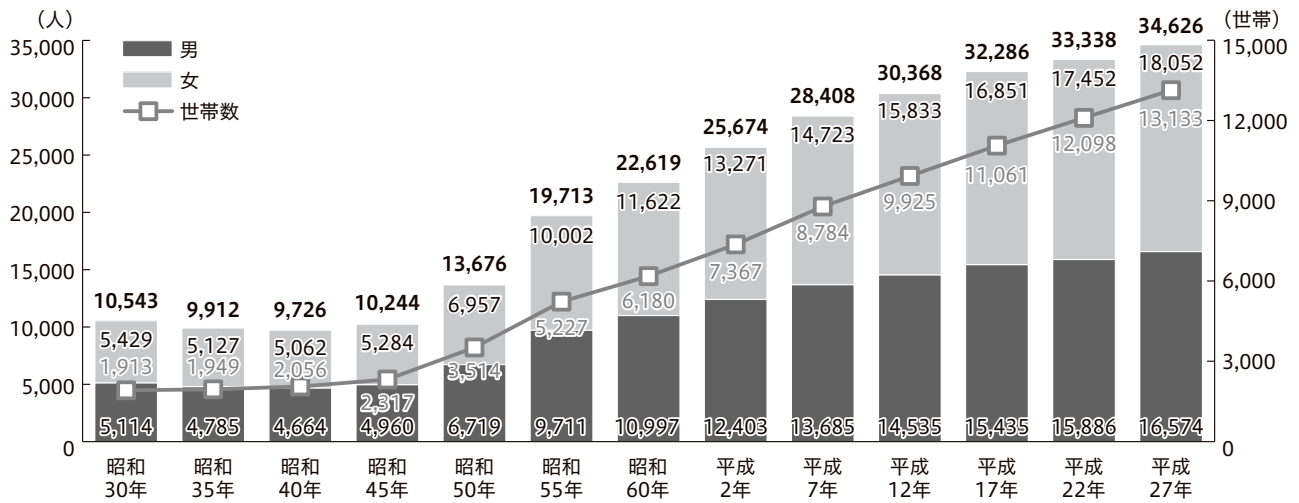
統計資料編

発行：令和3年(2021年)3月
 〒771-1292 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52番地1
 TEL:088-637-3111(代) FAX:088-637-3154
<https://www.town.aizumi.lg.jp/>

歯科医師数 25 人 町民1,410人に1人 平成30年12月	消防団員 98 人 町民360人に1人 令和元年度末	水道 4,944,431 KL 1人1日に383L 令和元年度	火災 4 件 92日に1件 令和元年度	ごみ処理 10,429 t 1世帯1日に1.94kg 令和元年度	し尿処理 10,845 KL 1世帯1日に2.01L 令和元年度
図書館 年間貸出数 188,517 冊 令和元年度	一般会計予算 110 億円 町民1人当たり311,995円 令和元年度当初	町税 40 億 4,248 万 7,000 円 町民1人当たり114,658円 令和元年度当初	議会議員 16 人 町民2,204人に1人 令和元年度	町職員 204 人 町民173人に1人 令和元年度当初	基礎データ 人口 35,257人 (令和元年度末) 世帯数 14,709世帯 (令和元年度末) 面積 16.27km ²

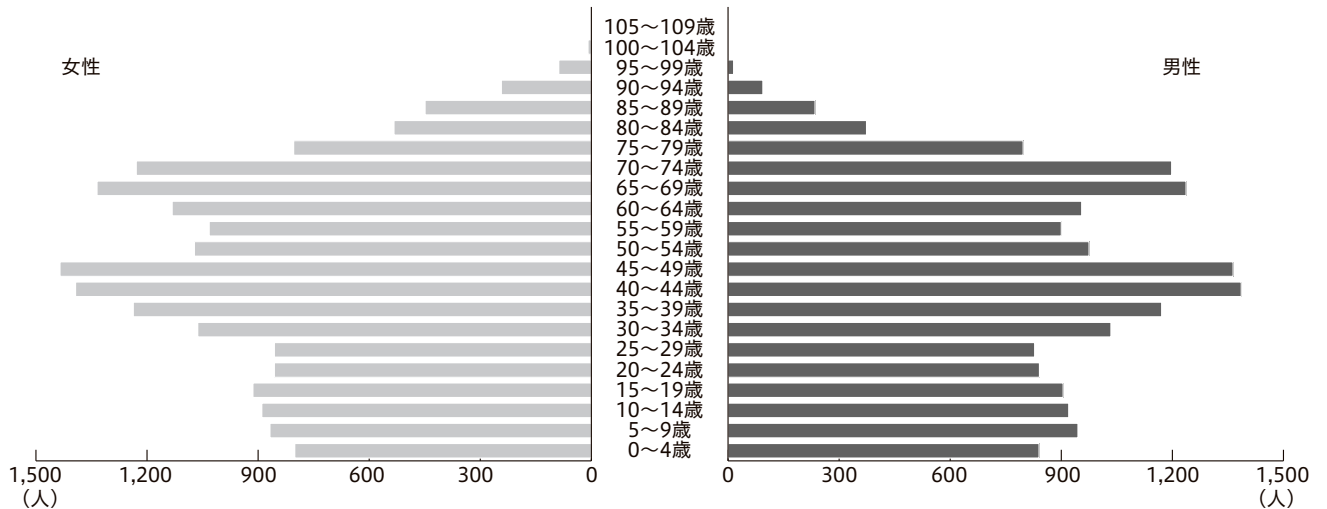
人口

人口と世帯数の推移（国勢調査）



資料：国勢調査

年齢別人口ピラミッド



※令和2年3月末現在。

資料：住民基本台帳

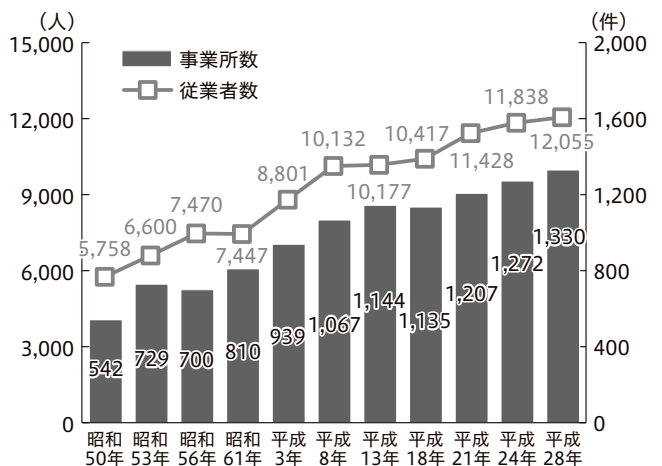
産業

農家数及び経営耕地面積の推移（単位：戸、ha）

	農家総数	専業農家	兼業農家	自給的農家	経営耕地面積
昭和40年	1,263	296	967	-	973
昭和45年	1,214	251	963	-	931
昭和50年	1,144	209	935	-	752
昭和55年	1,024	236	788	-	681
昭和60年	927	215	712	-	658
平成2年	805	210	595	-	646
平成7年	736	190	546	-	625
平成12年	670	142	366	162	619
平成17年	642	141	287	214	554
平成22年	584	149	218	217	552
平成27年	508	147	175	186	511

資料：農林業センサス

事業所数・従業者数の推移



資料：事業所・企業統計調査 経済センサス

保健・環境・衛生

医療施設及び病床数

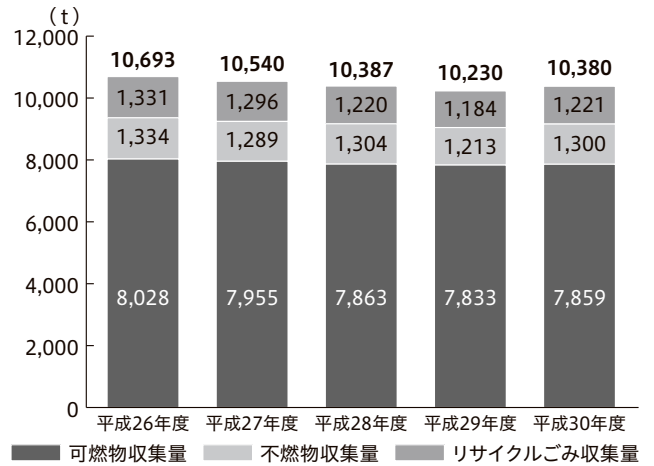
施設数				
病院			一般診療所	歯科診療所
計	一般	精神		
2	2	0	30	18

病院の許可病床数				
計	精神病床	結核病床	感染症病床	その他病床
107	0	0	0	107

※平成30年10月1日現在。

資料：県統計書

ごみ処理量の推移



資料：一般廃棄物処理事業実態調査

民生

介護保険給付状況

(単位：人、件、千円)

年度	被保険者数	認定者数	居宅		施設		高額		特定入所者	
			件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額
令和元年度	8,547	1,477	37,635	1,826,451	1,447	405,703	4,794	66,084	2,625	53,050

資料：介護保険事業状況報告年報

国民健康保険給付状況

(単位：人、件、千円)

年度	被保険者数	給付件数	町給付額	総費用額
令和元年度	6,969	119,366	1,997,088	2,729,304

資料：国民健康保険事業状況報告書

児童手当、児童扶養手当

(単位：人、千円)

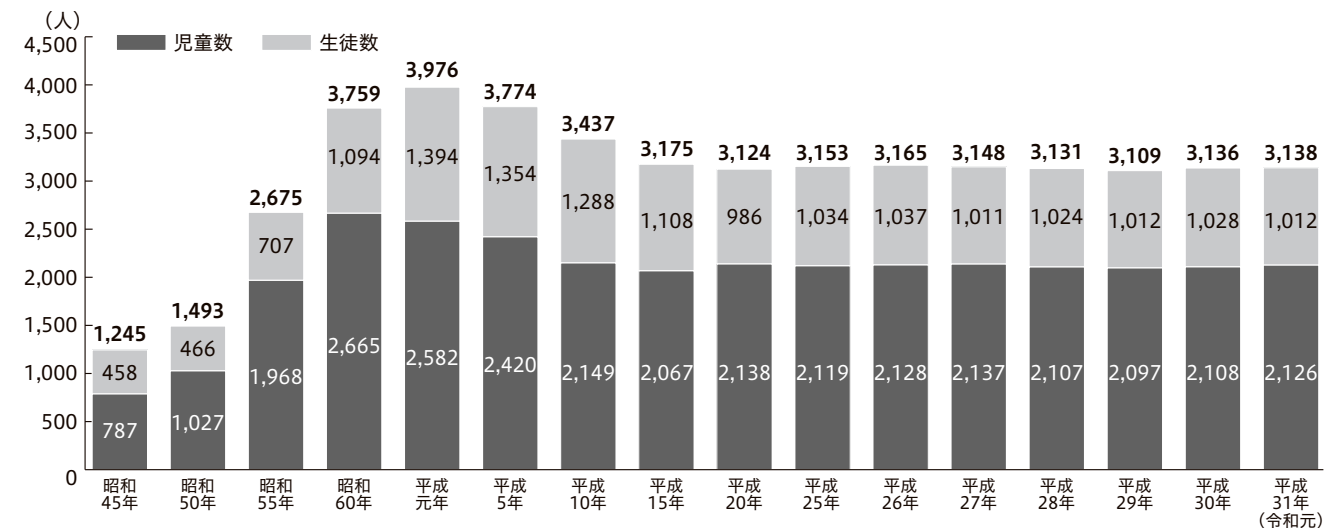
年度	児童手当			児童扶養手当 受給者数
	受給者数	受給児童数	金額	
令和元年度	2,970	4,995	213,051	354

※児童手当は2月末日、
児童扶養手当は12月末日

資料：児童手当支給状況報告書

教育

児童生徒数の推移



資料：学校基本調査

文化財

指定文化財

国県町別	種別	名称	指定年	所在地
国	重要民俗文化財	阿波藍栽培加工用具一式	昭和30年	徳命字前須西 歴史館「藍の館」
	史跡	勝瑞城館跡	平成13年	勝瑞字東勝地
	重要文化財建造物	犬伏家住宅	令和2年	東中富字大塚傍示
県	有形文化財	絹本著色 三好長基像	昭和31年	勝瑞字東勝地 見性寺
		絹本著色 三好長輝像	昭和31年	勝瑞字東勝地 見性寺
		奥村家住宅	昭和62年	徳命字前須西
		刀 阿州氏吉作	昭和28年	東中富字龍池傍示
	天然記念物	矢上の大クス	昭和31年	矢上字春日 春日神社
町	有形文化財	観音庵の星兜鉢	昭和59年	徳命字前須西 歴史館「藍の館」
		正法寺本堂	昭和59年	矢上字西 正法寺
		聖観音像	昭和59年	矢上字西 正法寺
		経机等	昭和59年	矢上字西 正法寺
		敬台院・忠英母子併刻の雲形位牌	昭和59年	矢上字西 正法寺
		敬台院肖像	昭和59年	矢上字西 正法寺
		寺院宛行状	昭和59年	徳命字前須西 歴史館「藍の館」
		野舞台背景用襷絵一式	昭和59年	徳命字前須西 歴史館「藍の館」
		野舞台背景用欄間(透かし彫り)	昭和59年	徳命字前須西 歴史館「藍の館」
		福成寺石造地藏菩薩坐像	昭和62年	住吉字逆藤 福成寺
		勝瑞義冢碑	昭和62年	勝瑞字東勝地 見性寺
		奥村家文書	昭和63年	徳命字前須西 歴史館「藍の館」
		絹着本親鸞聖人一代記	昭和63年	東中富字東傍示 光善寺
		見性寺文書	昭和63年	徳命字前須西 歴史館「藍の館」
		住吉神社本殿	昭和63年	住吉字神蔵 住吉神社
		住吉神社文書	昭和63年	住吉字神蔵 住吉神社
		住吉神社境内出土古瓦	昭和63年	住吉字神蔵 住吉神社
		住吉神社の力石	昭和63年	住吉字神蔵 住吉神社
		伊比良咩神社社殿	昭和63年	徳命字前須西 伊比良咩神社
		伊比良咩神社の古面	昭和63年	徳命字前須西 伊比良咩神社
		伊比良咩神社御旅所 緑泥片岩鳥居	昭和63年	徳命字前須西 伊比良咩神社
		諏訪神社本殿	昭和63年	奥野字山畑 諏訪神社

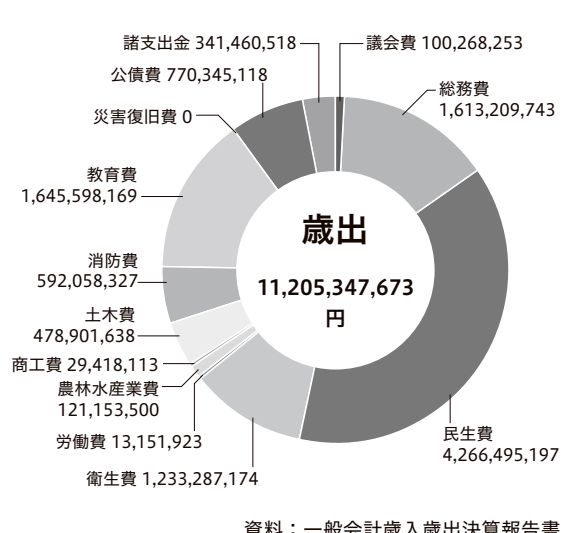
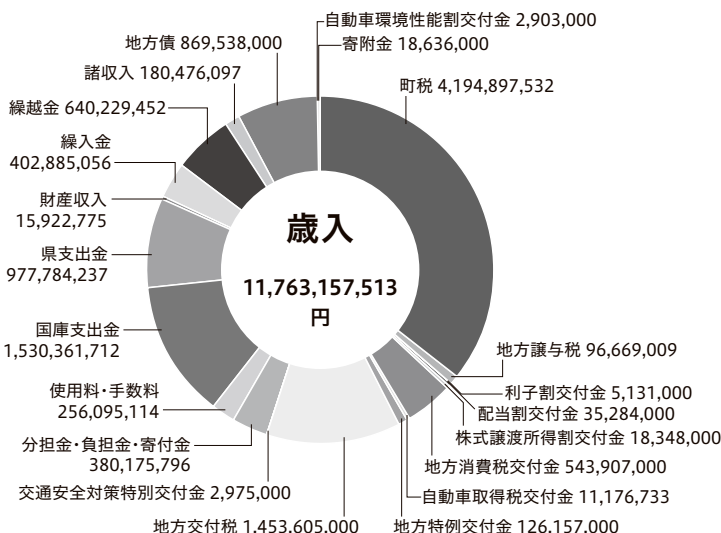
国県町別	種別	名称	指定年	所在地
町	有形文化財	北野神社	昭和63年	東中富字権現傍示 北野神社
		摂社弁天社太鼓橋		東中富字龍池傍示
		龍池の高地蔵	平成4年	東中富字龍池傍示
		鹿の墓	平成6年	矢上字春日
		三好家四代の墓所	平成8年	勝瑞字東勝地 見性寺
		富吉八幡神社の手水鉢	平成8年	富吉字富吉 富吉八幡神社
		阿弥陀橋の板碑	平成19年	勝瑞字正喜地
		福成寺の阿弥陀三尊種子板碑	平成19年	住吉字逆藤 福成寺
		福成寺の地藏画像板碑	平成19年	住吉字逆藤 福成寺
		知妙庵の五輪塔	平成22年	勝瑞字新田
		知妙庵の宝篋印塔	平成22年	勝瑞字新田
		福成寺の宝塔	平成22年	住吉字逆藤 福成寺
	有形民俗文化財	犬伏古松軒製菓所の製菓道具	令和2年	東中富
		無形民俗文化財	南陽神社の獅子舞	平成5年
	乙瀬八幡神社の獅子舞		平成5年	乙瀬字中田
	諏訪神社の獅子舞		平成5年	奥野字山畑
	史跡	住吉城跡	昭和62年	住吉字神蔵
	天然記念物	千光寺臥龍梅	昭和59年	徳命字元村 千光寺
		福成寺境内ラカンマキ	昭和63年	住吉字逆藤 福成寺
		東光寺境内イチヨウ	昭和63年	東中富字東傍示 東光寺
		東光寺境内マキ	昭和63年	東中富字東傍示 東光寺
		諏訪神社境内大いちょう	昭和63年	奥野字山畑 諏訪神社
		千光寺境内ナギ	平成2年	徳命字元村 千光寺
千光寺境内マキ		平成2年	徳命字元村 千光寺	
小塚八幡神社境内イチヨウ		平成2年	徳命字小塚 八幡神社	
敷地八坂神社境内大クス		平成2年	東中富字敷地傍示 八坂神社	
徳命八幡神社境内クロガネモチ		平成3年	徳命字元村 八幡神社	

登録文化財

国県町別	種別	名称	指定年	所在地
国	建造物	奥村家住宅 主屋	平成23年	徳命字前須西
		奥村家住宅 蔵	平成23年	徳命字前須西

財政

令和元年度普通会計歳入歳出決算



資料：一般会計歳入歳出決算報告書

行政

歴代町長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
初	徳元 四郎	S 30. 5.20	再選	7	山本 勇	54. 5.20	58. 5.19	13	石川 智能	13.12. 3	再選
2	徳元 四郎	34. 5.20	再選	8	久次米 圭一郎	58. 5.20	再選	14	石川 智能	17.12. 3	再選
3	徳元 四郎	38. 5.20	再選	9	久次米 圭一郎	62. 5.20	H 1.11. 2	15	石川 智能	21.12. 3	再選
4	徳元 四郎	42. 5.20	再選	10	堀江 長男	H 1.12. 3	再選	16	石川 智能	25.12. 3	29.12. 2
5	徳元 四郎	46. 5.20	再選	11	堀江 長男	5.12. 3	再選	17	高橋 英夫	29.12. 3	在任中
6	徳元 四郎	50. 5.20	S 54. 5.19	12	堀江 長男	9.12. 3	13.12. 2				

歴代助役・副町長

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
竹盛 茂樹	S 30.11. 3	再任	三澤 重美	53. 4. 1	54. 5.31	山田 雄亮	10. 4. 1	13.12. 2
高橋 平次	30.11. 3	S 31. 4.27	山本 勇	53. 4. 1	54. 3.21	北口 高義	14. 4. 1	再任
中道 敏太郎	31. 7.12	34. 5.31	坂東 九平	54. 6. 7	58. 5.18	友竹 哲雄	14. 4. 1	再任
竹盛 茂樹	34.11. 3	再任	三原 久	58.12.24	62.12.23	北口 高義	18. 4. 1	再任
森 平八郎	34.11. 3	再任	篠原 啓之	60. 4. 1	62. 3.31	友竹 哲雄	18. 4. 1	再任
竹盛 茂樹	38.11. 3	再任	鈴江 元治	62.10. 1	H 1. 3.31	北口 高義	22. 4. 1	再任
森 平八郎	38.11. 3	41. 3.31	友竹 信茂	62.12.24	H 1.12.17	友竹 哲雄	22. 4. 1	再任
竹盛 茂樹	42.11. 3	45. 1. 5	三原 久	H 1.12.25	再任	北口 高義	26. 4. 1	29. 1. 8
三澤 重美	45. 4. 1	再任	新開 昭夫	H 1.12.25	再任	友竹 哲雄	26. 4. 1	29.12. 2
山本 勇	45. 4. 1	再任	三原 久	5.12.25	9.12.24	奥田 浩志	30. 1. 1	在任中
三澤 重美	49. 4. 1	再任	新開 昭夫	5.12.25	9.10. 3	加藤 弘道	30. 4. 1	在任中
山本 勇	49. 4. 1	再任	瀨 高公	10. 4. 1	13. 7. 3			

※地方自治法の改正により平成19年度から助役の職名が副町長に変更された。

歴代収入役

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
犬伏 重明	S 30.11. 3	再任	坂東 九平	49. 4. 1	再任	田中 清	5.12.25	9.12.24
犬伏 重明	34.11. 3	再任	坂東 九平	53. 4. 1	54. 5.31	久次米 武	10. 4. 1	14. 3.31
犬伏 重明	38.11. 3	再任	富永 實信	54. 6. 7	58. 5.18	竹田 美代子	14. 4. 1	15. 3.31
犬伏 重明	42.11. 3	S 45. 3.31	佐野 隆男	58.12.24	H 1.12.17			
坂東 九平	45. 4. 1	再任	田中 清	H 1.12.25	再任			

※地方自治法の改正により平成19年度から収入役の職は廃止された。本町においては平成15年度から収入役は不在。

歴代議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
初	秦 発雄	S 30. 5. 6	S 31. 2.28	16	山田 忠良	58. 3.25	59. 2.28	31	藤川 安夫	17. 3. 8	18. 9. 8
2	秦 発雄	31. 3. 7	35. 2.28	17	千川 利一	59. 3. 5	61. 3. 5	32	佐野 慶一	18. 9. 8	20. 2.28
3	堀江 米太	35. 3. 5	38. 3.28	18	堀江 長男	61. 3. 5	63. 2.28	33	奥村 晴明	20. 2.29	21. 3. 6
4	佐々木 基一	38. 3.28	39. 2.28	19	生越 貞吉	63. 3. 7	H 2. 3. 6	34	古川 義夫	21. 3. 6	22. 3. 5
5	堀江 米太	39. 3. 5	41. 3. 2	20	浜 宏	H 2. 3. 6	3. 6.18	35	森 志郎	22. 3. 5	23. 3. 8
6	堀江 米太	41. 3. 2	43. 2.28	21	立川 弘昭	3. 6.18	4. 2.28	36	永瀆 茂樹	22. 3. 8	24. 2.28
7	堀江 米太	43. 3. 2	45. 3.11	22	三間 敏男	4. 3. 2	6. 3. 1	37	江西 博文	24. 2.29	25. 6.20
8	山本 貞幸	45. 3.12	47. 2.28	23	川上 邦男	6. 3. 1	8. 2.28	38	小堀 克夫	25. 6.20	26. 9.24
9	犬伏 芳夫	47. 3. 6	49. 3.14	24	川上 邦男	8. 3. 1	9.10. 7	39	佐野 慶一	26. 9.24	28. 2.28
10	佐野 正男	49. 3.15	51. 2.28	25	後藤 敬夫	9.12. 8	11. 6.22	40	森 志郎	28. 2.29	29.12.11
11	吉田 昭二	51. 3. 5	53. 3. 5	26	吉田 直司	11. 6.22	12. 2.28	41	奥村 晴明	29.12.11	30. 4.27
12	乾 薫	53. 3. 6	55. 2.28	27	喜田 修	12. 3. 1	13. 6.29	42	森 彪	30.4.27	R 2. 2.28
13	吉田 昭二	55. 3. 5	56. 3. 8	28	江西 新策	13. 6.29	15. 2.28	43	西川 良夫	R 2. 3. 2	在任中
14	犬伏 芳夫	56. 3. 9	57. 3.10	29	藤田 吉雄	15. 2.28	16. 2.28				
15	吉田 重雄	57. 3.10	58. 3.25	30	生越 貞吉	16. 3. 1	17. 3. 8				

歴代副議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
初	岩佐 猛	S 30. 5. 6	S 31. 2.28	15	高橋 勇	57. 3.10	58. 3.25	29	森 志郎	15. 6.18	16. 2.28
2	瀆 儀之丞	31. 3. 7	35. 2.28	16	佐藤 初男	58. 3.25	59. 2.28	30	喜田 敏夫	16. 3. 1	17. 3. 8
3	山本 貞幸	35. 3. 5	38. 3.28	17	堀江 長男	59. 3. 5	61. 3. 5	31	古川 義夫	17. 3. 8	18. 9. 8
4	森 信夫	38. 3.28	39. 2.28	18	立川 弘昭	61. 3. 5	63. 2.28	32	奥村 晴明	18. 9. 8	20. 2.28
5	宮本 秀男	39. 3. 5	41. 3. 2	19	喜田 修	63. 3. 7	H 2. 3. 6	33	小堀 克夫	20. 2.29	22. 3. 5
6	岸田 重太郎	41. 3. 2	43. 2.28	20	武田 勝雄	H 2. 3. 6	3. 6.18	34	江西 博文	22. 3. 5	24. 2.28
7	佐野 正男	43. 3. 2	45. 3.11	21	江西 頼正	3. 6.18	4. 2.28	35	西川 良夫	24. 2.29	25. 6.20
8	前田 重利	45. 3.12	47. 2.28	22	吉田 直司	4. 3. 2	6. 3. 1	36	平石 賢治	25. 6.20	25.12.25
9	吉田 重雄	47. 3. 6	49. 3.14	23	藤田 吉雄	6. 3. 1	8. 2.28	37	矢部 秀行	26. 3. 6	28. 1. 4
10	友竹 信茂	49. 3.15	51. 2.28	24	乾 光義	8. 3. 1	10. 3. 6	38	森 彪	28. 2.29	29. 3. 6
11	千川 利一	51. 3. 5	53. 3. 5	25	藤川 安夫	10. 3. 6	11. 6.22	39	平石 賢治	29. 3. 6	29.12.11
12	木内 恭義	53. 3. 6	55. 2.28	26	山田 民恵	11. 6.22	12. 2.28	40	永瀆 茂樹	29.12.11	R 2. 2. 28
13	山田 忠良	55. 3. 5	56. 3. 9	27	東條 照幸	12. 3. 1	13. 6.29	41	平石 賢治	R 2. 3. 2	在任中
14	山田 忠良	56. 3. 9	57. 3.10	28	木内 敏文	13. 6.29	15. 6.18				

年表

昭和30年	4月	藍園村、住吉村が合併し、藍住町が誕生	4月	町にはじめての信号が設置される	
	5月	初代町長に徳元四郎氏が当選		藍住町商工会館完成(旧位置)	
	11月	合併祝賀式	10月	町営馬木団地を改築	
昭和31年	1月	合併後初の成人式を挙行(成人総数226名)		大塚家具工業(株)第2工場が住吉に建設され、操業を開始	
	2月	合併後初の町議会議員選挙	11月	正法寺川浚渫改良工事がはじまる	
	7月	日活「花の運河」ロケ		都市計画法にもとづき、都市計画区域に指定される	
	9月	藍住町青年団発足			
	11月	公民館北分館発足			
昭和32年	1月	町章を一般住民から公募し、制定	昭和45年	3月	徳島地方事務局藍住出張所が笠木から奥野へ移転
	10月	第1回全町運動会		12月	水道施設第1次拡張工事
昭和33年	1月	南海丸、鳴門沖で沈没			町営笠木団地を改築
	6月	正法寺川橋が完成			町営中村団地完成
昭和34年	3月	徳島放送局、総合テレビ開局	昭和46年	2月	板野東部消防組合を藍住・北島・松茂3町で設立
	4月	町の中心地に役場庁舎(前庁舎)新築完成		4月	保育所完成(現中央保育所)
	4月	四国放送、テレビ放送開始			福祉センター・町民会館完成
	11月	徳元町長、無投票により2期目当選			徳元町長、無投票により5期目当選
		名田橋起工式		5月	松茂町ほか3町競艇事業組合に加入
		岸総理大臣(当時)から、優良町村として表彰を受ける		8月	有線放送の自動電話施設・事務所が完成
昭和35年	2月	選挙区を廃止し、全町一区の町議会議員選挙を行う			東部広域市町村協議会に加入
	4月	藍住町商工会設立	昭和47年	2月	板野東部消防組合庁舎落成式
昭和36年	2月	藍住町老人会発足		3月	町営敷地団地完成
		最初の工場誘致で、(株)長尾鉄工所が勝瑞で操業を開始		5月	第1回「親と子のつどい」を開催
昭和37年	4月	有線放送の開始		7月	農村青年の家落成式
	5月	藍住中学校開校式		8月	町民プール完成
	10月	第1回老人大学開催		11月	北小学校創立100周年
	12月	第1回藍住町民祭開催	昭和48年	3月	浄水場が完成
昭和38年	2月	名田橋開通式		5月	勤労青少年ホーム完成
	4月	住吉橋開通		9月	町の木に「樟」、町の花に「菊」を制定
	11月	徳元町長、無投票により3期目当選			藍住町振興計画(後期)策定
		光洋精工(株)(現(株)ジェイテクト)徳島工場を誘致。奥野にて操業を開始	昭和49年	10月	コンピューターを導入し、住民情報管理システムによる行政事務の近代化を図る
昭和39年	1月	藍住町商店協同組合創立	昭和50年	3月	南小学校創立100周年
	7月	新産業都市徳島地区に指定される		4月	徳元町長、無投票により6期目当選
	9月	沢の鶴食品(株)を誘致。東中富にて操業を開始		8月	幼保一元化を開始
	10月	京利工業(株)(現シミズ精工(株))を旧藍園中学校跡に誘致。操業を開始		11月	町営中富団地完成
		藍住町教育振興3か年計画を策定			新都市計画法による計画区域に全町が指定される
昭和40年	1月	藍住町社会教育振興計画策定			町制施行20周年記念式典
	3月	広域簡易水道事業(全地域)の水源池及び管理室完成	昭和51年	3月	江ノ口児童館完成
	7月	県下ではじめての新型交換機による電話交換サービスが藍住局で開始		5月	老人福祉センター・藍翠苑完成
	9月	南小学校・北小学校プール完成		7月	第1回「藍住町社会教育振興大会」開催
	9月	光洋シカゴローハイド(株)(現光洋シーリングテクノ(株))を旧住吉中学校跡に誘致。操業を開始			藍住青年会が発足
	10月	広域簡易水道施設竣工。全町への通水を開始	昭和52年	4月	藍住町総合計画策定
	11月	藍住町史完成(昭和35(1960)年着手)		7月	第1回あいずみ納涼祭開催
		町制施行10周年記念式典		10月	藍翠苑のバラ園が開園
		統合中学校の新築工事完成			ローズフェア(第1回バラまつり)
		池田巖氏に名誉町民の称号を贈る	昭和53年	3月	北小学校完成
昭和41年	3月	町営原団地、町営安任団地完成		8月	藍住町青少年健全育成会議結成
		大塚家具工業(株)第1工場を奥野に誘致。操業を開始		10月	学校給食優良学校として北小学校が文部大臣賞を受賞
昭和42年	4月	徳元町長、4期目当選	昭和54年	2月	南小学校完成
	11月	優良町村として、藤枝自治大臣(当時)から表彰を受ける		3月	勤労婦人センター(現勤労女性センター)完成
	12月	給食センターが完成し、学校給食を開始		4月	町長に山本勇氏が当選
昭和43年	2月	NHK徳島放送局、教育テレビ放送を開始		7月	東保育所完成
	9月	藍住町学校教育基本計画を策定		8月	南小学校プール完成
		矢上の大樟、台風の影響で倒れる		11月	徳元四郎氏に名誉町民の称号を贈る
昭和44年	2月	北小学校講堂兼体育館完成		12月	議会議事堂完成
		藍住町振興計画策定	昭和55年	4月	藍住町商工会健康マラソン大会開催
				10月	水道施設第2次拡張事業(1日最大給水量2万トンに)
					西クリンステーション完成(1日処理能力1トン)
				11月	町制施行25周年記念式典
				12月	藍住町農業振興地域促進協議会開催
昭和44年	2月	北小学校講堂兼体育館完成	昭和56年	1月	人口2万人を超える
		藍住町振興計画策定			行政事務総合オンライン計画開始

	2月	藍住中学校新校舎完成 第1回「町内マラソン大会」開催	8月	紅と藍の記念碑、福祉センター前に完成 エーアイテレビ株式会社設立
	3月	藍住町国民健康づくり推進協議会発足 武道館完成 町営乙瀬団地完成 新「藍こなし唄」を発表	12月	第5回全国中学生ウエイトリフティング選手権大会 皇太子殿下、藍の館・勝瑞城跡をご訪問
	8月	第1回「藍住町同和教育推進学級」開催	平成4年 3月	町民体育館が完成 西部児童館・老人憩の家が完成
	9月	土地利用指導要綱制定	7月	富吉郵便局オープン
	11月	第1回「藍住町花いっぱい運動菊花展」開催 第1回「勤労青少年ホーム文化祭」開催	11月	第48回東四国国体リハーサル大会開催(ウエイトリフティング競技)
	12月	第1回「藍住町障害者の集い」開催(国際障害者年記念)	平成5年 4月	町内全校で単独給食化開始
昭和57年	3月	中央クリーンステーション完成 鳴門藍住大橋完成(橋長330メートル) 西小学校・西幼稚園新設完成 江ノ口集会所完成 グリーンスポーツ施設「緑の広場」完成 富吉児童館・老人憩の家完成	9月	東中富親水公園が完成 秋篠宮殿下・妃殿下、藍の館をご訪問
	4月	西小学校・西幼稚園開校(開園)式	10月	国体選手村開村式 第48回東四国国体開催(ウエイトリフティング競技)
	6月	藍住町新農業構造改善事業開始	12月	堀江町長、無投票により2期目当選
	11月	第1回「藍住町菊祭り」開催	平成6年 2月	シルバー人材センター設立
昭和58年	3月	保健センター完成 町営安任北団地完成	3月	徳島自動車道藍住～脇間開通 笠木老人憩の家完成
	4月	町長に久次米圭一郎氏が当選 1歳児保育を開始	5月	エーアイテレビ社屋完成
			7月	東中富親水公園が手づくり郷土賞を受賞
			9月	有線放送廃止
昭和59年	3月	勝瑞児童館完成	平成7年 1月	正法寺川公園に木橋が完成し、一般公募により名称を「みどり橋」と決定 阪神淡路大震災
昭和60年	2月	第1回「スポーツ少年団駅伝大会」開催	4月	正法寺川公園一部完成
	3月	東小学校・東幼稚園新設完成	5月	町営安任北団地3号棟完成 JR高徳線高速化事業起工式(JR勝瑞駅構内)
	4月	東小学校・東幼稚園開校(開園)式		西保育所完成。0歳児保育実現
	11月	町制施行30周年記念式典	8月	徳島自動車道藍住～徳島間開通。側道の供用開始
昭和61年	3月	町営江ノ口団地完成 東中富児童館・老人憩の家完成	10月	第1回スポーツフェスティバル
	4月	徳島地方法務局藍住出張所新庁舎完成 法務局藍住出張所跡地に山田眼科診療所を誘致	11月	町制施行40周年記念式典 橋本夢道句碑建立
			12月	第1回勝瑞城シンポジウム
昭和62年	2月	特別養護老人ホーム藍寿苑、デイサービスセンター完成	平成8年 4月	第3次藍住町総合計画を策定 防災無線システム(町単独事業)を導入
	3月	勤労者体育センター完成(現体育センター) 準用河川本村川改修事業着手 新居須集会所完成	6月	河川敷運動公園落成記念大会
	4月	久次米町長、2期目当選 乙瀬老人憩の家完成	7月	正法寺川公園が手づくり郷土賞受賞
	6月	藍屋敷・奥村家文書寄贈調印	平成9年 4月	徳島北高校開校
	11月	山形県河北町との文化交流がはじまる 徳元四郎氏、地方自治功労で自治大臣表彰・県監査委員として全国表彰をうける	5月	合同庁舎完成(地下1階・地上6階)
	12月	第1回「じどうかんまつり」開催	6月	町合同庁舎6階に喫茶「ステップ」オープン
昭和63年	3月	東部老人憩の家完成 徳命児童館完成 東中学校完成	7月	精神障害者地域生活支援センター「虹の里」開設
	4月	東中学校開校	8月	コミュニティセンターが合同庁舎4階にオープン
	5月	正法寺川橋架け替え工事完成開通	11月	徳島地方法務局藍住出張所、同鳴門支局に統合される
	12月	第2次藍住町総合計画策定	12月	堀江町長、3期目当選
平成元年	3月	江ノ口老人ルーム完成 奥野児童館・老人憩の家完成	平成10年 3月	四国三郎橋開通式 自動交付機による住民票・印鑑証明書の交付を開始
	4月	消費税(3%)の導入 福祉ボランティアのまちづくり事業開始	4月	藍住町障害者計画策定
	8月	町立図書館・農業振興センター・歴史館「藍の館」オープン	10月	藍住町障害者生活支援事業を開始
	12月	町長に堀江長男氏が当選 東中学校プール完成	11月	天皇・皇后両陛下、藍寿苑をご訪問
平成2年	2月	東四国国体準備委員会設立	平成11年 1月	合同庁舎が「やさしいまちづくり賞」受賞
	3月	住吉児童館・老人憩の家完成 藍園人参部会、第19回日本農業賞で金賞受賞 第1回四国ウエイトリフティング大会開催	3月	戸籍事務のコンピューター化
	10月	徳命老人憩の家完成	4月	情報公開条例施行
	11月	町制施行35周年記念式典	7月	人口3万人を超える
平成3年	4月	鳴門授産センター藍住分場「ゆうあい作業所」完成	平成12年 3月	正法寺川公園、「まちづくり環境大賞」受賞
	7月	山形県河北町と友好都市締結	4月	介護保険制度がはじまる ペットボトル分別収集を開始
			8月	徳島北環状線が全線完成
			平成13年 3月	学童保育の利用者増加により奥野児童館増築
			4月	ごみ袋の透明化を開始
			6月	河北町との友好都市10周年を迎え、ロマンのかけはし 町民号が表敬訪問
			10月	藍住町公共下水道事業を開始
			11月	町長に石川智能氏が当選

平成14年	4月	中央保育所改築		4月	南・北幼稚園遊戯室耐震・園舎改修	
	5月	東中富桜つつみ公園開園			西保育所・東保育所を民間移管	
	7月	板野東部ファミリーサポートセンター開設			中央保育所の給食業務民間委託	
	8月	住民基本台帳ネットワークシステム開始		6月	河北町との友好都市21周年を迎え、ロマンのかけはし・町民号が表敬訪問	
	9月	板野東部消防組合新庁舎起工式(北島町)		8月	友好都市交流記念事業が開催され、河北町・石巻市との1市2町による災害時相互応援協定締結	
	11月	ねんりんピック徳島2003ゲートボール交流リハーサル大会開催		9月	第27回国民文化祭・とくしま2012開催	
平成15年	3月	県道徳島引田線バイパス開通 放課後児童クラブの利用者増加により住吉児童館増築		10月	国民文化祭勝瑞フェスティバル開催	
	8月	住民基本台帳ネットワークシステム第2次サービス開始		11月	4小学校ユネスコスクール加盟校に認定 友好の翼・河北町民号が来町	
	9月	北小学校管理棟、体育館耐震化				
	10月	ねんりんピック徳島2003ゲートボール交流大会が開催		平成25年	1月	板野郡5町と鳴門市との災害時応援協定締結
	12月	地上デジタル放送開始		4月	徳島県及び県内市町村との災害時相互応援協定締結 建設課現場業務の民間委託	
平成16年	3月	藍住町行財政改革大綱・藍住町行財政改革実施計画を策定		5月	「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)」施行	
	4月	藍翠苑、藍の館、勤労女性センター、勤労青少年ホームを指定管理		7月	町民体育館完成	
	7月	ブックスタート事業を開始		9月	町民体育館落成記念「あいすむまの音楽会」開催 群馬県東吾妻町、滋賀県愛荘町と3町合同企画展開催 群馬県東吾妻町、滋賀県愛荘町と災害時相互応援協定締結	
	10月	あいずみスポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ)誕生		11月	石川町長、4期目当選	
平成17年	4月	粗大ごみ有料化 町内の児童館、福祉センターを指定管理 町制施行50周年記念式典		平成26年	2月	徳島大学と相互連携に関する協定締結
	11月	石川町長、無投票により2期目当選		4月	藍寿苑を指定管理 消費税率が8%に引上げ	
平成18年	3月	集中改革プラン策定 第4次藍住町総合計画策定		9月	町マスコットキャラクター決定	
	4月	徳島滞納整理機構が発足 地域包括支援センター開設		10月	町制施行60周年記念 友好の翼・河北町民号が来町	
	8月	富吉ふれあい農園開園		平成27年	3月	防災備蓄倉庫完成
	9月	藍住町防災団結団式		4月	町制施行60周年記念式典	
	10月	藍住町自立経営農業振興会設立30周年記念大会開催(財)藍住町教育施設整備公社解散		6月	町制施行60周年を記念し、ロマンのかけはし・町民号が河北町を表敬訪問	
平成19年	4月	中央クリーンステーションを民間委託 パブリックコメント制度を導入		平成28年	1月	マイナンバーカードを利用した証明書コンビニ交付サービス開始
	8月	徳島東部地域における災害時相互応援協定締結		3月	第5次藍住町総合計画策定	
	9月	指定ごみ袋制を導入		4月	藍寿苑、デイサービスセンターを民間移管	
	10月	第22回国民文化祭・とくしま2007開催 皇太子殿下・妃殿下、藍の館をご訪問		5月	放課後児童クラブの利用者増加により奥野児童館増築	
	11月	第1回あいずみファミリースポーツフェスティバル開催		8月	リオデジャネイロ五輪パドミントン女子ダブルスで本町出身の松友美佐紀選手が金メダルを獲得 松友美佐紀選手に本町初の町民栄誉賞を授与	
平成20年	3月	放課後児童クラブの利用者増加により勝瑞児童館増築		9月	消費者生活センター開設	
	4月	後期高齢者医療制度がはじまる 徳島県後期高齢者医療広域連合発足 藍寿苑給食業務を民間委託		平成29年	6月	人口3万5千人を超える 江ノ口児童館耐震改修
	8月	友好の翼・河北町民号が表敬訪問		9月	放課後児童クラブの利用者増加により住吉児童館増築	
	11月	鳴門教育大学と連携協力協定を締結		11月	町長に高橋英夫氏が当選	
平成21年	3月	藍住町男女共同参画プラン策定		平成30年	4月	町メール配信サービス「藍メール」運用開始
	4月	公共下水道の一部供用開始 中学校の給食業務を民間委託		8月	阿波藍の製造復活に向けて地域おこし協力隊を採用	
	5月	裁判員制度がはじまる		平成31年	2月	放課後児童クラブの利用者増加により勝瑞児童館増築
	7月	河川敷運動公園パークゴルフ場を指定管理		3月	高速乗合バス実証運行事業開始 西部児童館を新築	
	10月	河川敷運動公園パークゴルフ場オープン		4月	総合文化ホール完成 青少年相談室を開設	
	11月	石川町長、3期目当選			小学校・幼稚園の給食業務を民間委託	
平成22年	2月	南小学校校舎棟、管理棟耐震化 北小学校校舎棟耐震化		令和元年	5月	吉野川流域9市町で申請した「藍のふるさと阿波～日本中を染め上げた至高の青をたずねて～」が日本遺産に認定される
	4月	放課後児童クラブの利用者増加により富吉児童館増築		7月	藍住町中学生海外派遣事業を実施	
	6月	第3子以降就学前児童の保育料・授業料無料化 新浄水場通水開始		10月	消費税率が10%に引上げ 幼児教育・保育の無償化がはじまる 友好の翼・河北町民号が来町	
平成23年	1月	新浄水場が完成(貯水容量7,650t)		11月	総合文化ホール開館記念式典・こけら落とし公演開催	
	3月	東日本大震災発生 四国大学と連携交流に関する趣意書並びに覚書調印式 板野東部消防組合第2消防署落成式 鳴門市とパートナーシップ支援協定締結 板野署管内3町による暴力団排除措置要綱制定に伴う調印式 藍住中学校西校舎耐震化		12月	地域おこし協力隊により、藍住町産の藍染料「菜」が完成	
	7月	地上アナログ放送停波		令和2年	1月	子育て世代包括支援センター「りぼん」を開設
	11月	株式会社イズミとまちづくりに関する協定書の調印式		4月	新型コロナウイルス感染症の流行により、全国に緊急事態宣言が発出される 町税と公金のコンビニ納付、町税のクレジットカード納付開始	
平成24年	3月	藍住中学校東校舎完成				